

◆地域の交通安全の取り組み

田原市では交通安全事故ゼロを目指し交通安全活動を推進しており、自治会などのコミュニティ団体においても、同様に交通安全の取り組みが行われています。

交通死亡事故ゼロの日や、年4回開催される交通安全運動期間中に、地域ぐるみの交通安全街頭指導が行われているのを皆さんも見かけたことがあるかと思えます。

地道な活動が成果に結びつく交通安全。特に事故に遭いやすいとされ



●交通安全街頭指導

る小学校低学年の子どもたちや、身体能力の低下したお年寄りなどを、地域のやさしい目が見守っています。



●見守りボランティアと下校する児童

◆地域の安心安全の取り組み

子どもを狙う犯罪や、空き巣など財産を狙う犯罪から地域を守るのに効果的なのが「地域の目」です。犯罪に及ぼうとしているときや下見をしているときに「顔を見られる」「声をかけられる」「あいさつされる」などの「地域の目」にさらされると、犯罪者は犯行に至らない傾向にあります。自治会の皆さんによる防犯の見守りボランティアなどは、最高の防犯効果を持っているといえます。

市民活動団体を紹介します

〈NPO法人 気分爽快〉

「NPO法人 気分爽快」は、「ともに働きともに生きる街の中に暮らしの拠点を」を合言葉に、農業や調理補助など幅広い事業を通して、障害を持つ方が社会に出て働くことを後押しする支援を行っています。「多機能型事業所やまぶきハウス」を拠点とし、就労継続支援B型事業を中心に10年近く活動してきました。



●黄色の建物が目印です

就労継続支援B型とは：雇用契約を結ぶA型とは異なり、契約を結ばず授産的な活動で工賃をもらい、就労の機会を得ながらA型や一般就労を目指す働き方

主な作業内容は、サラダ野菜や四つ葉のクローバーの栽培、果物などの乾燥加工、シエルマよしごの清掃管理などです。ビニールハウスでサラダ菜、レタス、セロリ、からし菜ネギ、クレソンなどの水耕栽培を行っ

ており、品目が多彩なため、栽培管理も難しく、気候によりカルシウムの栄養素を与えるなど工夫しています。



●水耕栽培の様子

職員が事業をさらに良いものにしたいたいがんばる理由は、少しでも利用者の賃金を上げたいという願いからです。就労移行支援として活用していたレストラン「ぐりんぐる」に代わり、今後その跡地を活用した新たな事業を計画しています。楽しみにしててください。

【問い合わせ】NPO法人 気分爽快 (小林)

☎276377

🌐http://kibunso-kai.info/

★やまぶきハウスの利用者さん募集中!

田原市民活動支援センター

ID 10001061

✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp